

4) 発達遅滞児、特に乳児の精神薄弱の早期診断に必要な
診察表の作製と妥当性に関する検討 (No. 1)

青木 徹 埼玉県立小児医療センター附属
大宮小児保健センター
大橋十也 埼玉県立小児医療センター附属
大宮小児保健センター

集団の乳児健診で精神発達遅滞児を早期に発見するための方法について検討した。次の 1)～7) の項目につき調べ、異常があれば精査すればよいと考える。

- 1): 質問紙を用いて、あらかじめ問診を行う。
- 2): ペンライトで固視、追視を確認する。
- 3): ガラガラ音を聞かせて、ふり向くかどうか反応をみる。
- 4): ガラガラを手を持たせて動きをみる。
- 5): 積木を持たせてみる。
- 6): 顔のぬのかけテストをする。
- 7): 身体症状の有無をみる。

以下 1)～7) の各項目につき検討した。

- 1) 質問紙を用いて、あらかじめ問診を行う。
質問項目に母親に回答してもらうか、あるいは保健婦などが問診を行って記入する。現在使用されている質問紙を再検討して、精神発達遅滞に関する項目が少なければ追加する。
(リスク因子もきく)
- 2) ペンライトで固視、追視を確認する。
3～6 カ月では 50 cm、2 カ月ぐらいで 20～30 cm で行う。固視を確認した後ペンライトを左右にゆっくりと移動して追視を確認する。3 カ月になると 180 度近く追視する。
- 3) ガラガラ音をきかせて反応をみる。
後方あるいは頭上から、ガラガラ音をきかせてふり向くかどうか反応をみる。3 カ月すぎてもふり向かなければ異常である。
- 4) ガラガラを持たせて動きをみる。
すぐ放してしまえば 2 カ月以下、少しのあいだ握って遊んでいれば 2～3 カ月レベル、握ったりして遊んでいるのは 4 カ月の発達レベルである。
- 5) 積木を持たせてみる。

近くにおくと取るのが 5 カ月レベル、手を伸ばしてつかむのが 6 カ月レベルである。

6) 顔のぬのかけテスト

精神発達遅滞ではとらない。5 カ月以上で全く反応しないのは異常である。

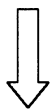
7) 身体症状の有無をみる。

顔の表情、小奇形の有無、筋緊張、疾患に特有な顔ぼう、症状の有無などみる。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



集団の乳児健診で精神発達遅滞児を早期に発見・するための方法について検討した。次の

1)～7)の項目につき調べ、異常があれば精査すればよいと考える。

1):質問紙を用いて、あらかじめ問診を行う。

2):ペンライトで固視、追視を確認する。

3):ガラ・ガラの音を聞かせて、ふり向くかどうか反応をみる。

4):ガラガラを手を持たせて動きをみる。

5):積木を持たせてみる。

6):顔のぬのかけテストをする。

7):身体症状の有無をみる。

以下 1)～7)の各項目につき検討した。